



北上文化プラザまつり(三島市)



北上文化プラザまつり

11月19日(日)三島市北上文化プラザにおいて、第11回北上文化プラザまつりが開催されました。主催は北上文化プラザまつり実行委員会。日頃北上プラザを活用しているサークルが協力団体として盛り上げていました。

子ども遊び広場では北上地区自治会連合会、三島市老人クラブ連合会北上支部、北上小学校PTAが協力していました。地域一帯となって、子どもからお年寄りまでが協力してまつりを盛り上げていました。

まつりの内容が盛り沢山なので、全てを紹介できない事はお許し頂きたいと思います。紹介しきれない程、北上文化プラザが地域に活用されている事の証だと感じました。

玄関を入ると市民サービスコーナーの前には綺麗で艶やかな花が展示されていました。本物の生花だと一瞬思ってしまった(写真左)。北上パンフラワーサークルによる作品です。樹脂粘土を使って花や植物を作り、色付けします。本物と見間違えそうな出来栄です。写真では生花だと思ってしまいました。

写真右は盆栽を展示していた豆州えびね会の皆さんです。盆栽は難しいですね？と会員の方に聞いたら、難しく考える必要は無いですよ。自分の自由にやれば良いですよとっておられました。趣味ですから色々な楽しみ方が有ると言う事でしょうね。



三島文化プラザまつり



三島文化プラザまつり

階段を上がり、2階に行くと日本画が展示して有りました(写真左)。書道の展示(写真右)。少年の書道も展示されていました。



三島文化プラザまつり



三島文化プラザまつり

生け花教室の展示が有りました。写真左が古流の生け花です。そして、写真右は現代華の生け方だと説明を受けました。生け花の中島洋子先生にお坊様や武士が生け花をしていたのですよとお聞きし、調べてみました。

生け花の始まりは室町時代に聖徳太子が創建した紫雲山頂法寺の池のほとりにあった六角堂の池坊の執行(現在で言う住職)であった池坊専慶・専応らがいけばな成立期に於いて大きな活躍を見せ、華道家元の地位を確立したと池坊のホームページに記載されていました。

江戸時代は武士が武家屋敷の床の間に生け花をしていたと有り、生け花のイメージは女性がやるものだと言う自分の認識の間違いを知りました。日本の素晴らしい伝統である生け花を伝承していく必要が有ると言う説明員の話に共感しました。



[三島文化プラザまつり](#)



[三島文化プラザまつり](#)

最近よく絵手紙がテレビで紹介されますが、絵手紙北上教室も展示していました(写真左)。写真右はレザークラフトの作品が展示していました。趣味の教室が多く有り驚きました。



[三島文化プラザまつり](#)



[三島文化プラザまつり](#)

写真左は水彩画の展示。写真右はナインパッチサークルの作品展示。素晴らしい作品が展示されていました。



[三島文化プラザまつり](#)



[三島文化プラザまつり](#)

写真左はプリザーブドフラワーサークルの作品展示。写真右は手芸サークルの作品展示





[三島文化プラザまつり](#)



[三島文化プラザまつり](#)

写真左は手製の籠の展示。写真右は手編みセーターの作品展示。



[三島文化プラザまつり](#)



[三島文化プラザまつり](#)

北上エコクラブが環境教育の紹介をしていました(写真左)。環境に対するアンケートを記入しました。自分が環境に対する優しさに欠けていると感じました。ここまで歩いてこないといけなかったかなと反省しました。

和室では茶道のお抹茶体験が有りましたが、取材に行った時には終わっていました(写真右)。残念！



[三島文化プラザまつり](#)



[三島文化プラザまつり](#)

写真左は玄関に展示されていた菊の作品。見事な花を咲かせていました。今が時期ですね。多目的ホールでは社交ダンスのサークルがお揃いの衣装で優雅に踊っていました(写真右)。ステージでは楽器演奏、コーラス、詩吟、日本舞踊、演歌、着付けショー、フラダンス、三島サンバと9時40分から16時まで25のステージ発表が有りました。外の芝生広場ではバザー、野菜やお菓子の販売、ヨーヨー釣りが行われました。北上手打ちそば会による実演とそばの販売が行われました。お昼に食べましたがそばの太さも揃い、大変美味しかったです。ご馳走様でした。

北上文化プラザを活用しているサークルがこんなにも沢山あるのかと驚きながら、元気に活動しているシニアの方が多いのにも驚きました。健康長寿に繋がりますよね。また、赤いジャンパーを着て走り回ってサポートしていた職員等のスタッフの皆さん御苦勞様でした。地域に密着した最高のイベントでした。来年も楽しみにしています。そして素晴らしいイベントがこれからも末永く続いて行く事を祈念しています。

取材：東部・田方地区生きがい特派員 加藤 孝